



Gluegent Flow マニュアル

自動処理結果

(管理者向け)

目次

1. はじめに.....	2
2. 自動処理結果の概要.....	2
2.1. 自動処理結果とは.....	2
3. 自動処理結果機能説明.....	3
3.1. 一覧表示.....	3
3.2. 検索条件.....	4
3.3. エラー原因の表示.....	5
3.4. 実行結果の削除.....	6
3.5. 自動処理の再実行.....	7

1. はじめに

本書は Gluegent Flow の概要および管理者向け操作手順を説明しており、G Suite や Office 365 の操作手順および Gluegent Flow の一般利用者向け操作手順の説明は含んでおりません。

本書は 2020 年 10 月 1 日時点の情報を元に作成しているため、実際の画面や仕様と異なる場合があります。

2. 自動処理結果の概要

2.1. 自動処理結果とは

Gluegent Flow では、特定の処理の後に定型の処理を行うなどの設定をモデル毎に行えます。このモデルに付加した処理を自動処理と呼んでいます。自動処理結果では、この自動処理の実行結果(自動処理の実行に成功したか、エラーなどで失敗したか)を表示できます。また、自動処理がエラーで終了した場合は、自動処理結果の一覧画面からエラーとなった自動処理を再実行できます。

3. 自動処理結果機能説明

3.1. 一覧表示

設定画面にて「自動処理結果」をクリックすると、自動処理の実行結果が一覧表示されます。

表示内容は以下の通りです。

No	項目名	説明
1	名前	自動処理の名前が表示されます。
2	種類	実行した自動処理の種類が表示されます。
3	結果	現在の自動処理の実行状態が表示されます 成功: 自動処理の実行に成功した 失敗: 自動処理の実行に失敗した(10回再実行しても成功しなかった) 未完了: 自動処理を実行中(または再実行中)
4	回数	自動処理の実行回数が表示されます。自動処理の実行に失敗した場合、10回まで再実行します。
5	原因	実行結果が「失敗」の場合のみ、「詳細」(iアイコン)が表示されます。
6	件名	自動処理を実行したタスクデータの件名とタスク番号が表示されます。
7	経路	自動処理を実行したタスクデータの経路名が表示されます。
8	実行日	自動処理を実行した日付・時刻が表示されます。
9	再実行	自動処理が失敗したり未完了のままになった場合に、「再実行」が表示されます。クリックすると自動処理が再実行されます。ここでも失敗した場合さらに10回再実行されます。

3.2. 検索条件

実行結果一覧の初期表示はすべての実行結果を表示します。検索条件を入力し、「検索」をクリックすると自動処理の実行結果データを検索できます。

指定可能な条件は以下の通りです。指定した条件は、AND 条件として検索されます。

No	項目名	説明
1	実行結果	<p>自動処理の実行結果の状態を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(すべて) ・成功 ・未完了 ・失敗 ・スキップ <p>から選択できます。</p> <p>「スキップを除く」のチェックをオンにすると「次を飛ばす自動処理」により飛ばされた自動処理を除く結果を表示します。</p>
2	実行日	実行開始日時の範囲を入力またはカレンダーから選択します。

3.3. エラー原因の表示

自動処理の実行に失敗した場合、エラー原因の詳細を確認できます。

自動処理の実行結果が「失敗」の自動処理に表示された「i」アイコンをクリックすると、エラー原因がダイアログで表示されます。

名前	種類	結果	回数	原因	件名	経路	実行日	
タイトル変更	 タイトルのアップデート	未完了	0回		日報 [20180124-00002]	申請	1月24日 16:37	再実行
スプレッドシート出力	 スプレッドシート行追加	失敗	10回		日クリック24-00002]	申請	1月24日 16:37	再実行

自動処理結果詳細 ×

詳細

```

java.io.IOException: com.google.gdata.util.InvalidEntryException: BAD_REQUEST
空白の行には書き込みができません。代わりに削除を使用します。

    at
    com.gluegent.gwt.commons.apps.spreadsheet.server.service.google.GoogleSpreadsheetService.insertRow(GoogleSpreadsheetService.java:898)
    at
    com.gluegent.gwt.commons.apps.spreadsheet.server.service.google.GoogleSpreadsheetService.insertRow(GoogleSpreadsheetService.java:56)
    at
        
```

[閉じる](#)

エラー原因が既知(頻繁に発生するもの)の場合は、わかりやすいエラーメッセージが表示されます。それ以外のエラーの場合は自動処理の実行時に発生したエラー原因がそのまま表示されます。一覧画面と、この情報を弊社サポート (support@gluegent.com) 宛に送付してください。

3.4. 実行結果の削除

不要な実行結果を一覧から削除し、今後表示しないようにできます。
「一括削除」をクリックします。



名前	種類	結果	回数	原因	件名	経路	実行日	
タイトル変更	↑ ↓ タイトルのアップデート	未完了	0回		日報 [20180124-00002]	申請	1月24日 16:37	再実行
スプレッドシート出力	↑ ↓ スプレッドシート行追加	失敗	10回	i	日報 [20180124-00002]	申請	1月24日 16:37	再実行

実行結果一覧で削除したい実行結果のチェックをオンにし、「選択したものを削除」をクリックします。



<input type="checkbox"/>	名前	種類	結果	回数	原因	件名	経路	実行日	
<input checked="" type="checkbox"/>	タイトル変更	↑ ↓ タイトルのアップデート	未完了	0回		日報 [20180124-00002]	申請	1月24日 16:37	再実行
<input checked="" type="checkbox"/>	スプレッドシート出力	↑ ↓ スプレッドシート行追加	失敗	10回	i	日報 [20180124-00002]	申請	1月24日 16:37	再実行

「削除を実行」をクリックします。



3.5. 自動処理の再実行

実行結果が「エラー」となった自動処理を再実行できます。

自動処理が失敗となっている場合「再実行」が表示されます。クリックすると自動処理が再実行されます。

名前	種類	結果	回数	原因	件名	経路	実行日	
タイトル変更	 タイトルのアップデート	未完了	0回		日報 [20180124-00002]	申請	1月24日 16:37	再実行
スプレッドシート出力	 スプレッドシート追加	失敗	10回		日報 [20180124-00002]	申請	1月24日 16:37	再実行

※注意※

- 再実行は、エラーと未完了の場合のみ表示されます。
- 再実行は、前回と同じ処理を繰り返します。外部の原因でエラーになり、その原因を取り除ける場合にのみ、ご利用ください。原因が取り除けない場合は、再実行しても同じエラーになります。
- 再実行された自動処理の実行回数が10回以上の数値に更新されます。また、実行結果のステータスが、「失敗」から、「未完了」に更新されます。再実行の後、実行結果によって、「成功」・「失敗」が表示されます。



Gluegent Flow マニュアル

2020年10月1日
サイオステクノロジー株式会社

※本書にて記述した製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。
※本書の内容の無断転載および改変を禁止します。
